



熊本市立大江小学校

ときめき

2024.4.15 (月)

No. 5



文責
松永

入学式

先週11日(木)は令和6年度の入学式でした。さわやかな風が吹く中、112人の元気いっぱいの新一年生がおうちの方に手を引かれながら、大江小に登校してきました。ピカピカのランドセルを背負った子どもたちは、期待に胸を膨らませているように見えました。中にはちょっぴり不安という表情もあったようです。今年度の入学式は、保護者と在校生代表の6年生に加えて、保護者・地域の代表の方をお迎えして開催することができました。小学校入学という節目の時、拍手の中、先生方と一緒に体育館に入場してきた子どもたちを、目にされたおうちの方々の、感慨深く嬉しそうな表情が印象的でした。笑顔いっぱいの子もたちは、堂々としたものでした。式が始まってからも、落ち着いていました。私からのお祝いの言葉として、「小学校では、自分で考えて行動してほしい」ということを伝え、始業式と同様に「しなさい」から「するぞう・やるぞう」の気持ちでがんばってほしいと、次の3つを取り上げて話をしました。

- 「あいさつや返事」をすると、心と心がつながり優しくなります。
- 「友達と仲良く」してほしいと思います。
- 「大江小学校を好きになってほしい」はじめてのことがいっぱいですが、一緒にがんばっていきましょう。

私の話の間、1年生はおしゃべりすることなくしっかりと、時は反応をしながら聞くことができました。期待が膨らみました。担任紹介に続いて、一年生の誓いの言葉でしたが、「わくわく」「きらきら」「がんばります」と声を揃えて聞かせてくれました。それを受けて、六年生の有志による歓迎の言葉でした。一年生に向けて、大江小のキャラクターであるえのもとと一緒に、給食や図書の本のこと、先生たちのことなどの学校紹介をしてくれました。一年生も一生懸命見入っていました。式を終えた一年生は、花のアーチをくぐって、担任の先生と一緒に教室に移動して学級開きが行われました。あとで合流した保護者の方の前で、担任からの指名点呼や配付物の確認、そして翌日からの学校生活に向けての話を聞き、初日は終了でした。あらためて、ご入学おめでとうございました。112人の一年生が早く学校生活に慣れて、がんばってほしいと願っています。

